

# 第 35 期（2024年度）プロ・ナトゥーラ・ファンド助成 採択決定プロジェクト一覧

## 1. 応募と採択の状況

第 35 期	国内研究	国内活動	NPO	海外	特定テーマ ①植物	特定テーマ ②沿岸域	2024年度 合計
応募件数	41	17	5	14	11	19	107
採択決定	14	3	2	2	5	4	30
助成金額	1,332万円	299万円	200万円	200万円	788万円	788万円	3,607万円

## 2. 採択決定プロジェクト

### 国内研究助成

団体	代表者	テーマ	期間	助成額
ザリガニペスト調査研究会	渡邊 謙一	アフアノマイセス感染症（ザリガニペスト）の病態解明とニホンザリガニへの影響調査	2年	¥1,000,000
和泉葛城山ブナ林保全研究グループ	幸田 良介	天然記念物と和泉葛城山ブナ林に迫る温暖化とシカ食害：40年前との植生比較とカメラトラップによるアプローチ	1年	¥990,000
つくばカエル調査団	澤田 聖人	関東平野における国内外来種ヌマガエルの爆発的増加が在来カエル群集に及ぼす生態的影響	2年	¥1,000,000
コロニー生態学研究グループ	本多 里奈	鳥類の集団営巣地が昆虫の多様性保全に与える影響を市民科学で解明	1年	¥1,000,000
北海道鳥類保全研究会	白木 彩子	大型鳥類種の風車衝突事故対策の実現化をめざす研究	1年	¥450,000
浅間山カモシカ研究会	高田 隼人	ニホンカモシカの減少要因の解明に向けた長期個体群モニタリング：シカの増加と錯誤捕獲の影響	2年	¥1,000,000
国立科学博物館筑波実験植物園奥山研究室	奥山 雄大	日本列島で特異な適応進化を遂げたクチナガハバチ属の系統多様性の解明およびその情報を用いた保全単位の検討	2年	¥1,000,000
有明海保全生態学研究グループ	佐藤 正典	多くの特産種を含む有明海の特異な底生生物群集の減少要因解明のための基礎研究	2年	¥1,000,000
長崎大学教育学部生物学教室	大庭 伸也	ゲンジボタルの離島への移入実態の解明	2年	¥1,000,000
グミ科植物研究グループ	塚本 佳生	グミ科グミ属絶滅危惧植物の窒素固定共生細菌相と遺伝的多様性の解明	2年	¥1,000,000
北海道大学海亀研究会	富安 信	蓄光繊維を用いたウミガメ類の新たな混獲防止技術の開発	1年	¥920,000
北海道大学大学院理学研究院・野外鳥学研究会	高木 昌興	極東固有の草原・湿地性鳥類 <i>Helopsaltes</i> 属6種に共生するウモウダニの保全分類学研究	1年	¥1,000,000

微小水生昆虫保全 団体	加藤 雅也	微小希少水生昆虫アマミマルケシゲンゴロウの保全のた めの基礎調査	1年	¥960,000
南房総里山水生生 物保全研究グルー プ	高田 まゆら	健全な水辺環境における絶滅危惧IB類ホトケドジョウの 生息に必要な条件の解明と地域個体群保全への適用	2年	¥1,000,000
国内研究助成 14件、助成内定金額				¥13,320,000

#### 国内活動助成

団体	代表者	テーマ	期間	助成額
埼玉西部アライグ マ対策協議会	渡邊 英之	トウキョウサンショウウオ等在来両生類保全のための包 括的なアライグマ対策	1年	¥990,000
公益財団法人山階 鳥類研究所	水田 拓	日本の鳥類標識調査の100年 一次の100年間の発展に向 けたシンポジウムとワークショップの実施一	1年	¥1,000,000
一般財団法人新し き村	稲垣 喜弘	首都圏近郊の「新しき村」における農業活動と希少生物 との関係～調査・保全とその啓発～	1年	¥1,000,000
国内活動助成【一般枠】3件、助成内定金額				¥2,990,000

#### 国内活動助成【地域 NPO 活動枠】

団体	代表者	テーマ	期間	助成額
NPO法人自然回復 を試みる会ピオト ープ孟子	坂本 雅城	食害にあったクヌギの有効活用	1年	¥1,000,000
特定非営利活動法 人おきなわ環境ク ラブ (OEC)	立田 亜由美	ラムサール条約登録湿地「漫湖」周辺の自然再生エリ アにおける調査発見型環境学習プログラムの開発と提 供	1年	¥1,000,000
国内活動助成【地域 NPO 活動枠】2件、助成内定金額				¥2,000,000

#### 海外助成

団体	代表者	テーマ	期間	助成額
北ボルネオ熱帯林 生態系サービス研 究会	北山 兼弘	北ボルネオにおける断片化した熱帯林を結ぶ回廊に沿 った中型・大型哺乳動物の分布調査	1年	¥1,000,000
シロハラサギ保全 チーム	島野 智之	シロハラサギの生息域外保全：特殊育雛器を用いたブ ータンの現地専門家の支援と人工育雛技術の向上	1年	¥1,000,000
海外助成2件、助成内定金額				¥2,000,000

特定テーマ助成①「絶滅が危惧される植物（種あるいは群生地）の保全に関する研究・活動」

団体	代表者	テーマ	期間	助成額
乗鞍北岳GLORIAチーム	今井 伸夫	キタダケソウを含む希少高山植物種の温暖化応答予測のための基礎調査：GLORIAサイトの構築	2年	¥2,000,000
特定非営利活動法人 小笠原野生生物研究会	藪内 良昌	父島における国内希少野生植物4種の生息域外保全事業	2年	¥1,920,000
芦生希少植物域外保全プロジェクト研究会	石原 正恵	絶滅危惧植物群の域外保全の社会実装：資金・担い手の好循環モデルの確立に向けて	2年	¥2,000,000
東よか干潟を守る会	郡山 益実	東よか干潟におけるシチメンソウ群落のハビタット環境の現況解析	1年	¥1,000,000
イワテヤマナシ保全研究グループ	石井 弘明	絶滅危惧種イワテヤマナシの遺伝的に純粋な集団の保全に関する研究	1年	¥960,000
特定テーマ助成①5件、助成内定金額				¥7,880,000

特定テーマ助成②「日本国内における河口域及び海浜等の沿岸域の生物多様性保全に資する研究・活動」

団体	代表者	テーマ	期間	助成額
干潟域マイクロプラスチック研究会	木村 悠二	干潟域におけるマイクロプラスチック汚染実態と移行メカニズムの解明	2年	¥2,000,000
宇久島植物研究会	長谷川 匡弘	開発が迫る海岸風衝草原における絶滅危惧植物の分布および送粉生態調査	2年	¥1,880,000
海草消耗病基礎研究グループ	伊藤（阿部） 美菜子	日本産海草における消耗病感染実態の把握と流行拡大抑制要因の特定に向けた全国調査	2年	¥2,000,000
奄美群島サンゴ研究グループ	北之坊 誠也	奄美大島に沿岸に生息するミドリイシ属サンゴの保全に向けた基礎調査	2年	¥2,000,000
特定テーマ助成②4件、助成内定金額				¥7,880,000